

2016年通期 アルバイト・パート募集時平均時給調査レポート —三大都市圏職種全体での平均時給は年間を通して前年同月比較+2%前後で上昇—

■ 調査概要

本レポートは、月次で発表している「アルバイト・パート募集時平均時給調査」について2016年4月～2017年3月の調査結果をまとめたレポートとなります。

当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『TOWNWORK社員』『fromA navi』に掲載された求人情報より、アルバイト・パートの募集時平均時給を集計しております。

<集計対象媒体について>

- 『TOWNWORK』 : 「家の近くで働きたい」「学校の近くで働きたい」など勤務地を重視する読者へ向けた無料の求人情報誌。全国で展開。
- 『TOWNWORK社員』 : 「地元で社員になりたい」など勤務地と雇用形態を重視する読者へ向けた無料の求人情報誌。全国で展開。
- 『fromA navi』 : アルバイト・仕事探しの総合求人情報サイト。関東、関西、東海エリアを中心に、北海道・東北、北陸・甲信越、中国・四国、九州・沖縄、リゾートの全8版を展開。

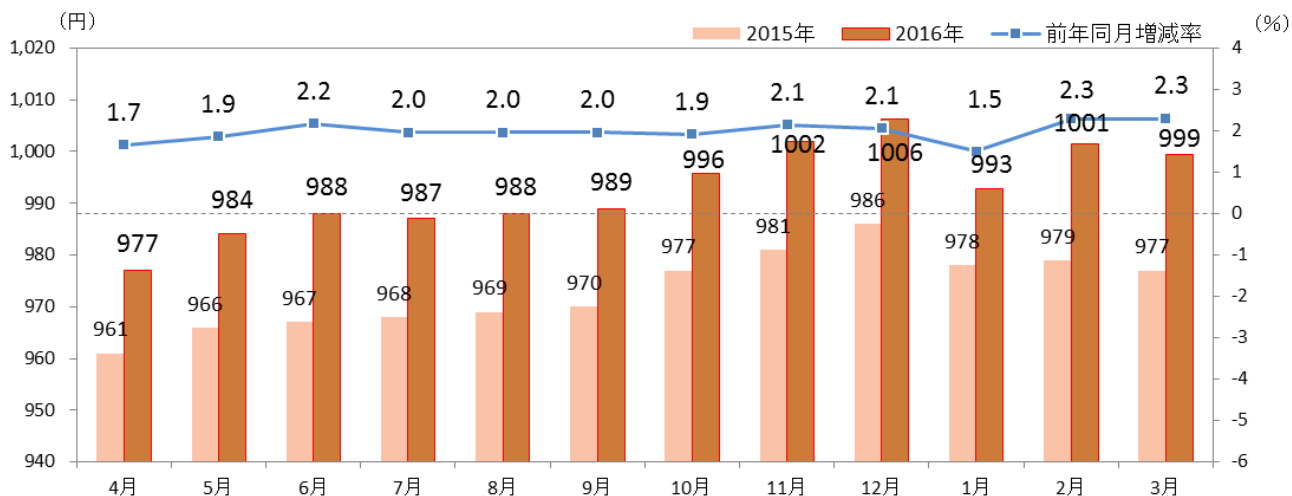
■ 目次

- 1 調査概要・目次
- 2 全体賃金推移年間傾向
- 3 職種別賃金推移年間傾向

全体賃金推移

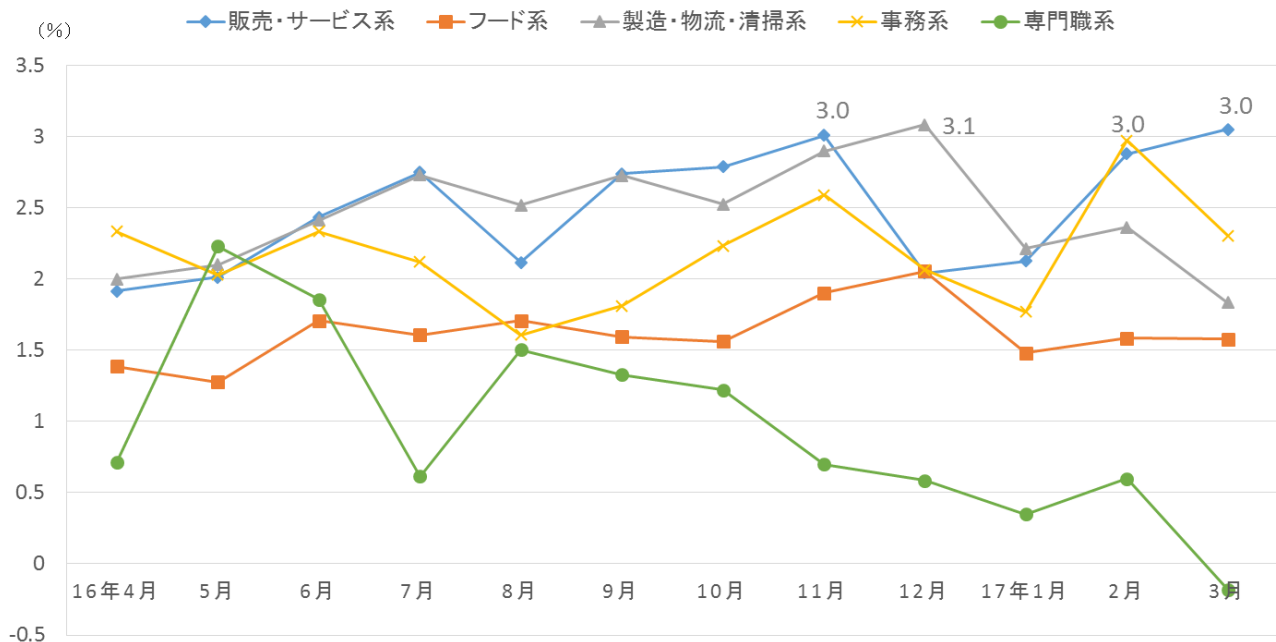
全体

三大都市圏の職種全体における時給推移は以下になります。
慢性的な人手不足の影響を受け、時給は年間を通して前年同月増減率+2%前後で、
上昇傾向にあります。
年間では12月が「1,006円」と最も平均時給が高い結果となっています。



職種別の前年同月比増減率推移

2016年度の三大都市圏における各職種における前年同月比増減率推移は以下になります。
特に、「販売・サービス系」「製造・物流・清掃系」「事務系」の上昇幅が大きく、
11月～3月において前年増減率が+3%を超える月も見られました。

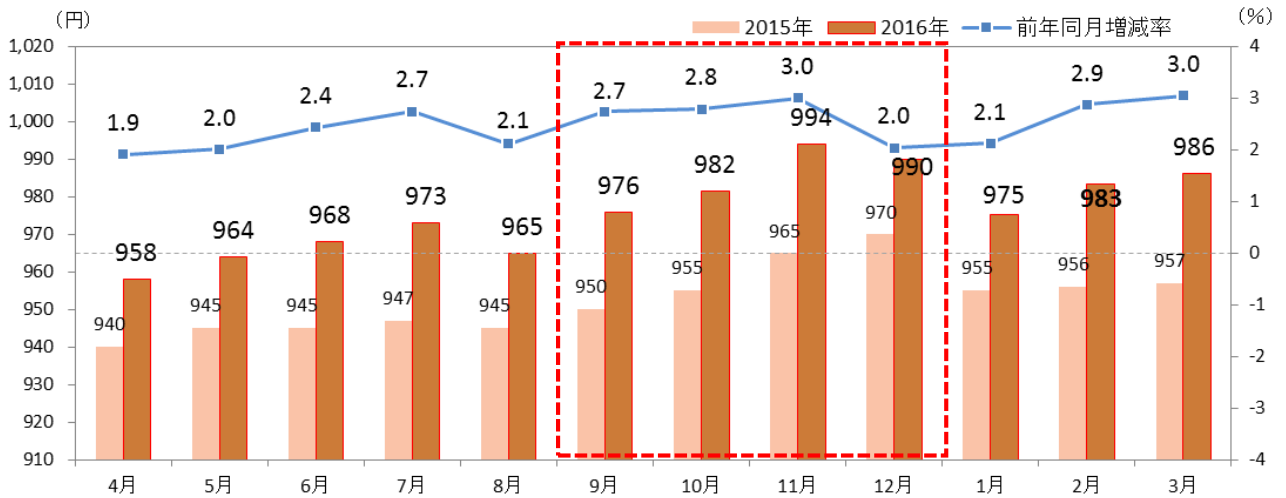


職種別賃金推移<販売・サービス系>

続いて職種毎の三大都市圏における時給推移を見ていきます。

販売・サービス系

都道府県毎における最低賃金改定額が定まる8月から実際に改訂が実施される10月にかけての期間、年末年始の繁忙期に向けた11月（12月）に大きく時給が上昇し、11・12月がピークとなる傾向があります。

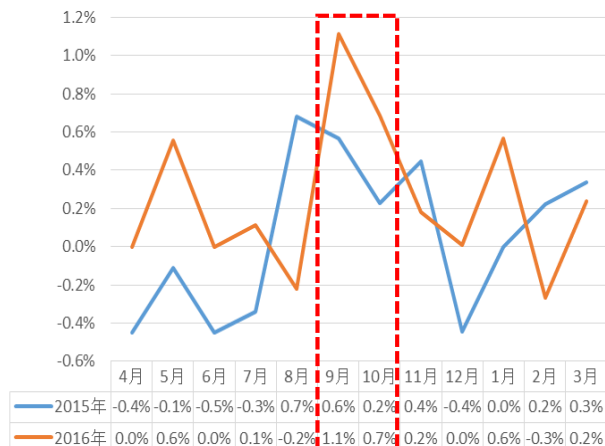


トピック

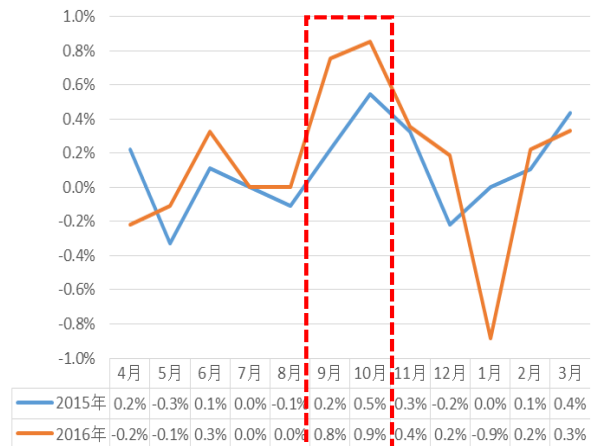
2016年度の最低賃金の引き上げ額が過去最高※1の上昇率となった都道府県が多い中、前年と比較し相対的に時給額が低い傾向の職種である「コンビニスタッフ」「レジ」において9月・10月に大きく時給額が上昇していることがわかります。

■前月増減率

(1) 「コンビニスタッフ」



(2) 「レジ」



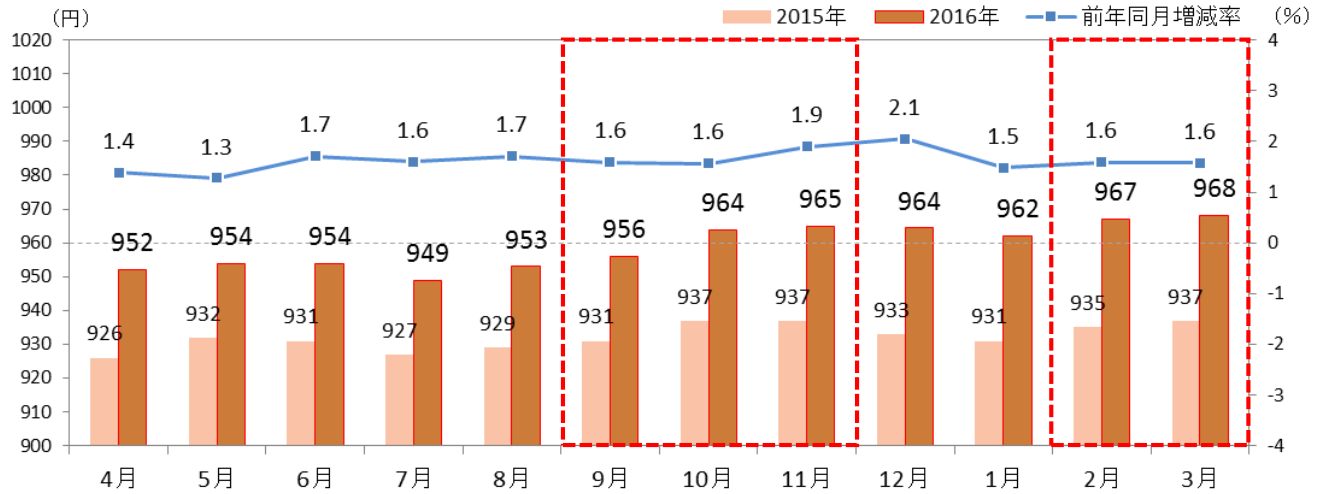
※1 引き上げ額を日給から時給ベースに切り替えた02年度以降で全国加重平均における上げ幅が最大

職種別賃金推移<フード系>

フード系

フード系職種は12月の繁忙期に向け、9月～11月にかけて採用を強化する傾向があり、人手不足に伴い時給も高まっています。

また、学生が多く働く職種であり、4月のスタッフ入れ替えに向けて、2月・3月が募集時期となり時給が高まる傾向があります。

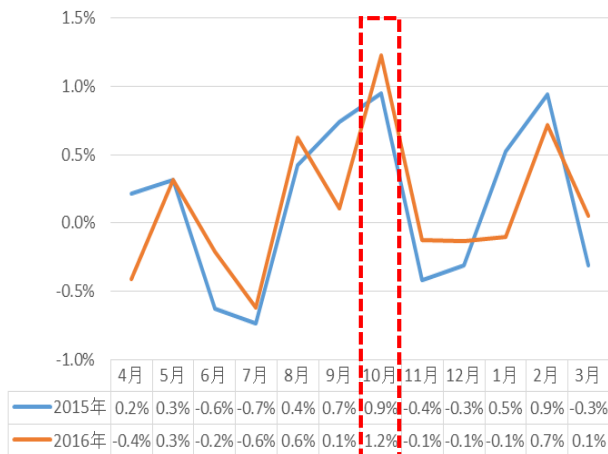


トピック

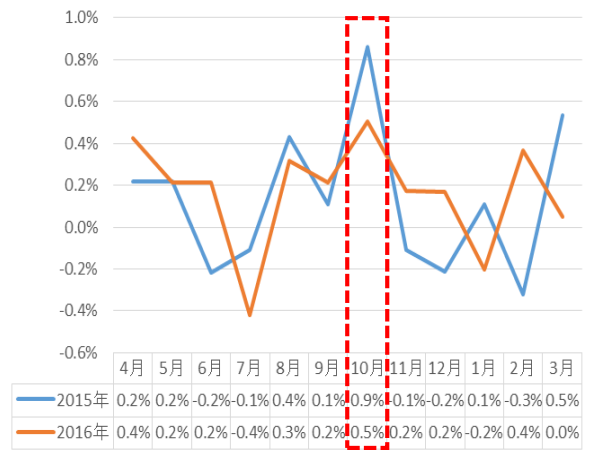
「ホールスタッフ（飲食店）」「調理・コック・板前（見習含）」において、前月増減率は2015年度、2016年度共に10月が最も高くなっています。

前月増減率

(1) 「ホールスタッフ（飲食店）」

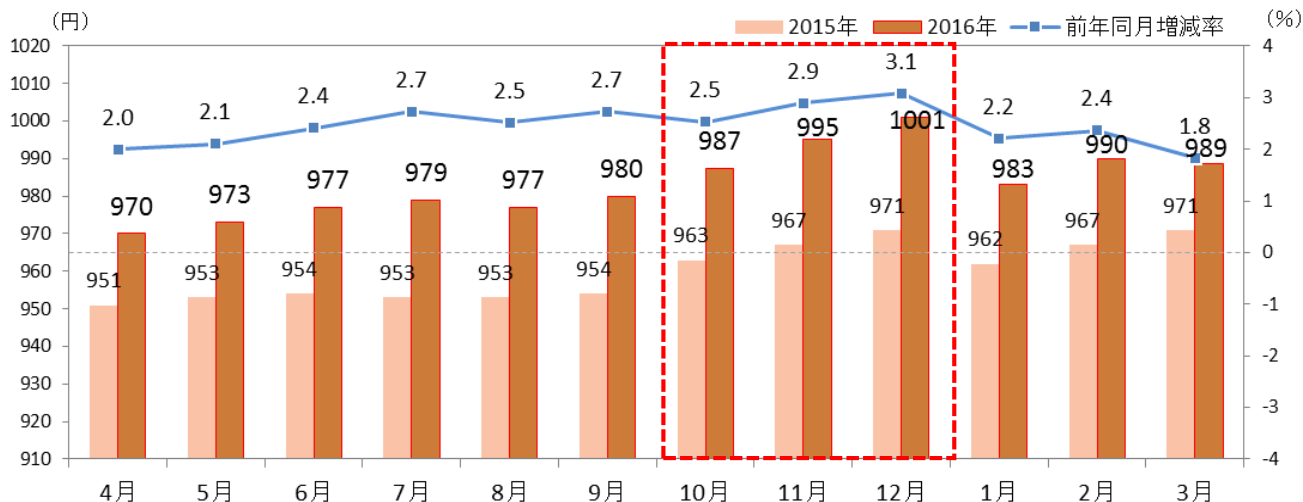


(2) 「調理・コック・板前（見習含）」



製造・物流・清掃系

物流職種では、お歳暮や年末年始の買い物等で配送量が増える12月に向けて時給が上昇する傾向にあります。

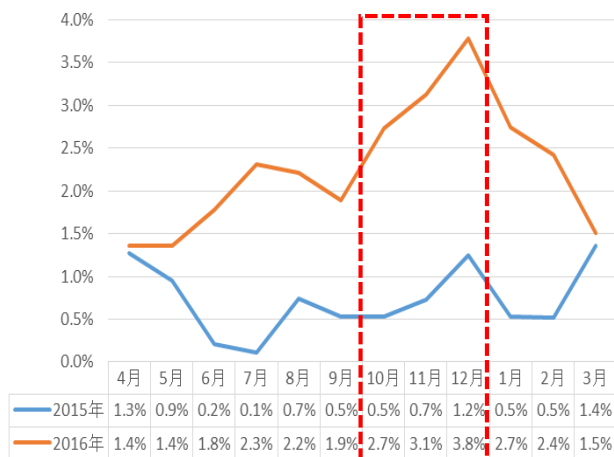


トピック

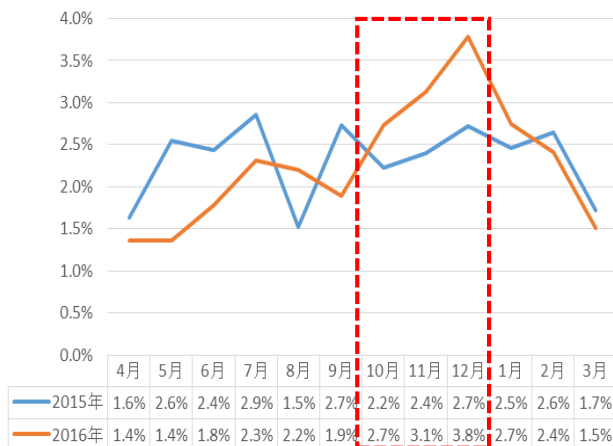
物流職種について上記の季節的な傾向に加え、近年の電子商取引(EC)市場の拡大に伴う配送量の急激な増加の影響が続いています。2016年の宅配便貨物の取扱個数は約38億6,896万個となり、6年連続で過去最高を更新。また、12月は前年同月比9.9%増の4億6,318万個と単月としても過去最高を更新しています。※2
その影響を受けて、「物流作業」「ドライバー・配送・デリバリー」の平均時給も2016年度は前年と比較しても10月～12月は大きく時給額が上昇していることが推察されます。

■前月増減率

(1) 「物流作業」



(2) 「ドライバー・配送・デリバリー」

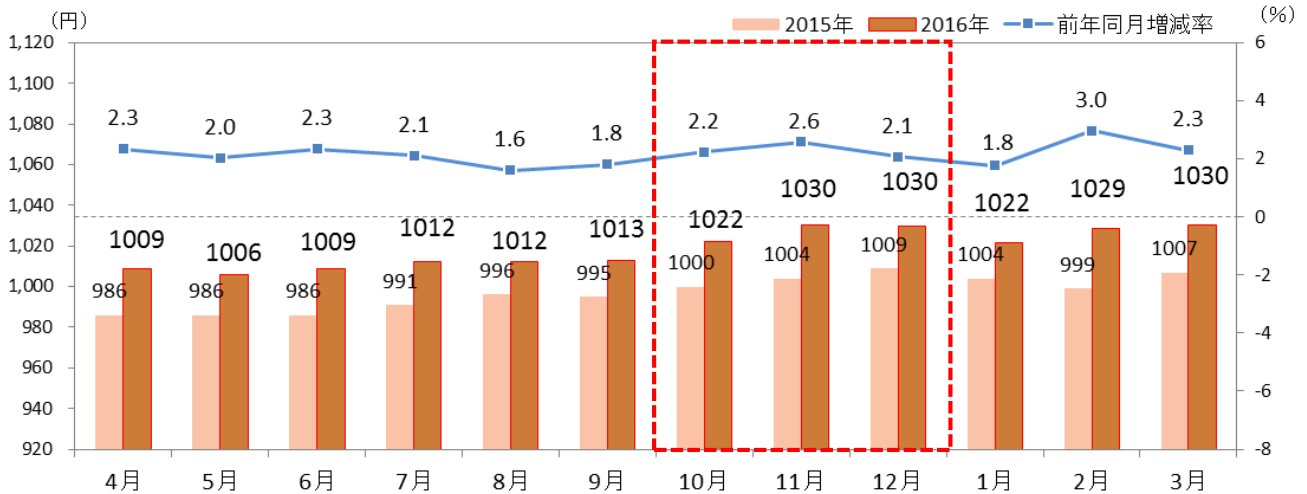


※2 国土交通省 トラック輸送情報より
<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/13/prompt/index.pdf>

職種別賃金推移<事務系>

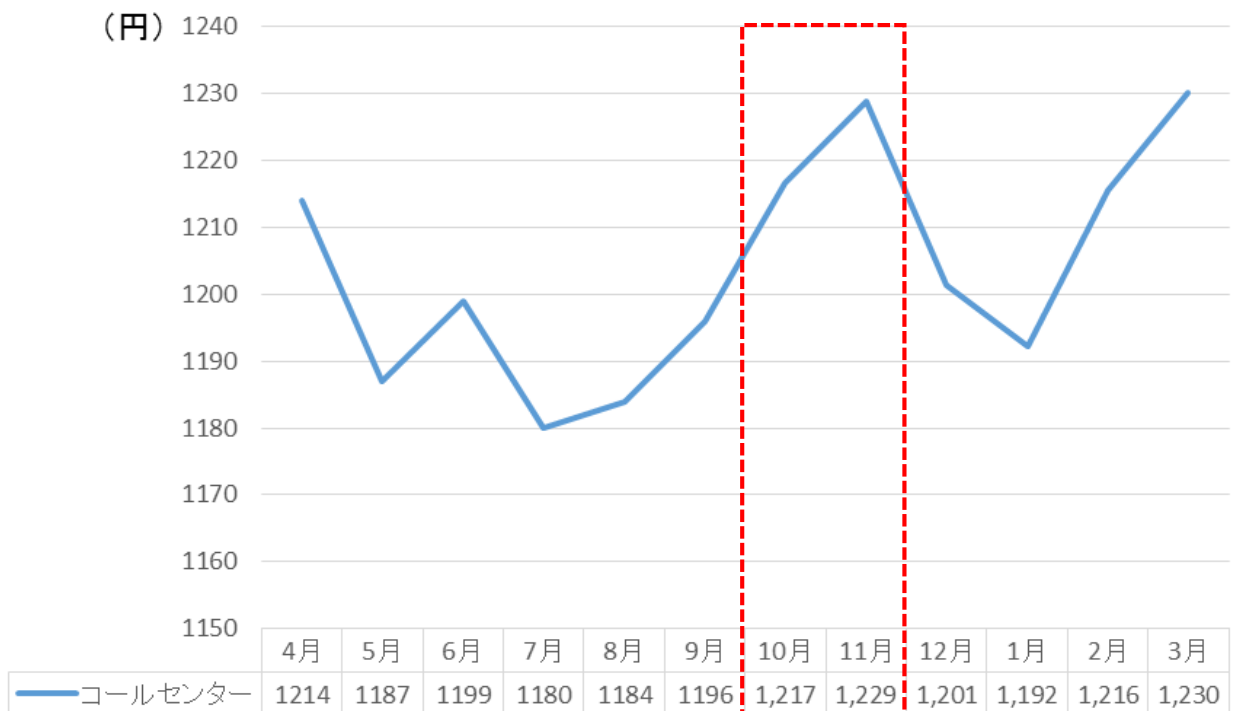
事務系

10月から12月にかけて事務系職種の中においても、相対的に時給が高い案件（「コールセンタースタッフ」、「データ入力」など）の時給が上昇し、全体の時給を押し上げる傾向にあります。



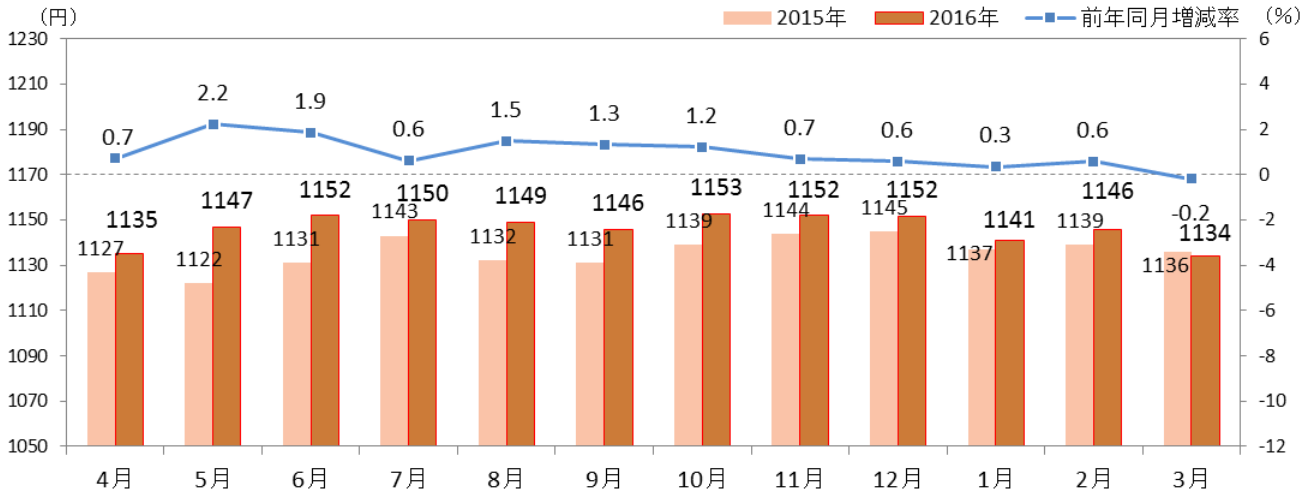
トピック

物流と同じく電子商取引（EC）の成長と共に、顧客への電話対応機会が増えてきていることなどを受けて、「コールセンタースタッフ」の時給は上昇傾向にあります。特に10月、11月にかけて、年末に向けた需要の高まりを受けて時給が上昇していると推察されます。



職種賃金推移<専門職系>

専門職系

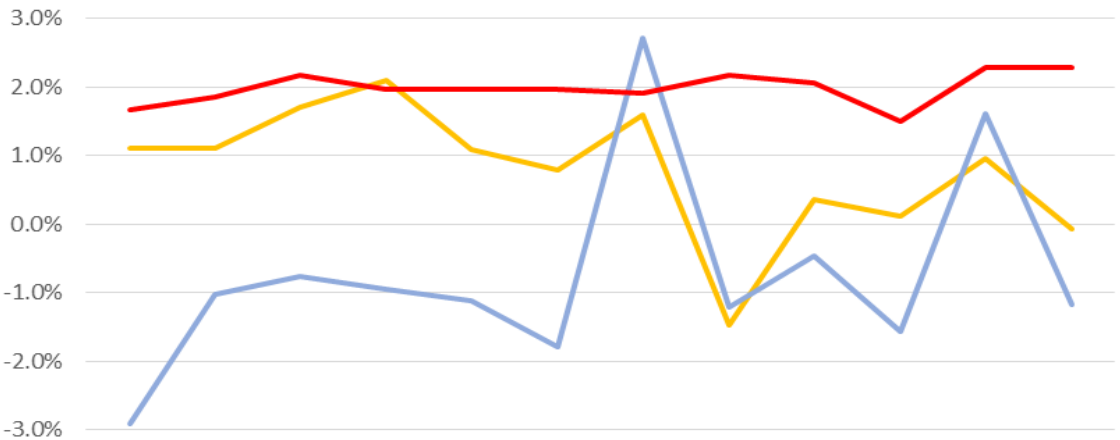


※専門職系には、「看護師」「歯科衛生士」「介護スタッフ」「塾講師」「保育士」などが含まれています。
 職種範囲が広いため、傾向がそれぞれに異なり、季節傾向は表れにくいです。

トピック

高齢化の進展に伴い、より一層の人手不足が深刻化される介護業界ですが、「介護スタッフ」「訪問介護員（ホームヘルパー）」について、2016年度において全職種全体の時給額の前年同月増減率と比較しても増減率が低く、時給上昇傾向はあまり見られません。

■前年同月増減率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護員	1.1%	1.1%	1.7%	2.1%	1.1%	0.8%	1.6%	-1.5%	0.4%	0.1%	1.0%	-0.1%
介護スタッフ	-2.9%	-1.0%	-0.8%	-0.9%	-1.1%	-1.8%	2.7%	-1.2%	-0.5%	-1.6%	1.6%	-1.2%
全体	1.7%	1.9%	2.2%	2.0%	2.0%	2.0%	1.9%	2.2%	2.1%	1.5%	2.3%	2.3%